

ま え が き

沖縄県病院事業局は、総合的な診療体制を備えた中核病院として、県立北部病院、県立中部病院、県立南部医療センター・こども医療センター、県立宮古病院、県立八重山病院及び県立精和病院の6病院並びに16ヶ所の附属診療所を運営し、救急医療、小児医療、周産期医療及び離島・へき地における一般医療の提供のほか、医療従事者の養成等も行っており、本県の地域医療の確保及び医療水準の向上に大きく貢献しております。

一方、経営面においては、これまでも多額の累積赤字や未収金の発生など多くの経営上の問題が指摘されたことから、平成21年3月に策定した「経営再建計画」に基づき、診療報酬上の施設基準の取得等による収益の確保、診療材料費、薬品費の縮減プロジェクトによる費用の縮減等の経営改善に取り組んだ結果、不良債務の解消、約100億円の資金不足の解消並びに経常収支の黒字化を達成したところであります。

沖縄県病院事業局では、今後とも持続的な経営の健全化が達成できるようなお一層取り組みを強化するとともに、県民が求める良質な医療を安定的かつ継続的に提供していくために、医療提供体制の整備や経営再建等の諸課題の解決に取り組んでまいります。

この年報を発行するに当たり、平素、県立病院の運営にご協力をいただいております関係各位に感謝申し上げますとともに、本県の県立病院事業の理解の一助としてご活用いただければ幸甚です。

平成25年3月

沖縄県病院事業局

局 長 伊江 朝次

凡 例

- 1 この年報で県立病院及び診療所とは、沖縄県病院事業の設置等に関する条例(昭和47年5月15日条例第35号)により設置された病院及びその附属診療所をいう。
- 2 県立名護病院は、平成3年12月1日付で県立北部病院に名称変更したため、この年報では従来の名護病院に係る資料は全て北部病院に統一した。
- 3 この年報の年度区分は特に注記のない限り、平成23年4月1日から翌年3月31日までである。
- 4 病床数とは、医療法に基づき県知事の使用許可を受けた病床数を原則としたが、事項により必ずしもこれに従わなかった。
- 5 入院患者延数とは、毎日の退院患者数と毎日午後12時現在の在院患者数の累計である。
- 6 診療科別とは、病院において標榜している診療科別に区分したものである。
- 7 診療実日数は、入院については年度内の歴日数、外来については、年度内の歴日数から、日曜日・祝日及び年末年始の休日等外来診療を行わなかった日を除いた日数である。
- 8 類似県とは、島根県、徳島県、高知県、佐賀県、宮崎県の5県である。
- 9 財務の概況において、県立病院課(本庁)の経費等は各病院に按分計上した。
- 10 経営分析に関する用語については、原則として地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)の用語例に準じた。
- 11 年報表中の符号の用法は次のとおりである。
 - 「－」該当事実のないもの
 - 「…」資料なし、又は不詳のもの
 - 「○」掲載単位に満たないもの
 - 「△」マイナスの場合
- 12 端数整理については四捨五入によっている。したがって必ずしも合計が100%にならない。
- 13 以上のほか注記が必要と思われるものは、それぞれの箇所に記載した。

目 次

まえがき

凡 例

目 次

第 I 章 県立病院の概況

| | |
|-----------------------|----|
| 第 1 沿革及び組織 | 1 |
| 1 沿革 | 1 |
| 2 組織 | 8 |
| 3 位置 | 9 |
| 第 2 現況 | 10 |
| 1 本庁及び県立病院一覧表 | 10 |
| 2 病床数の推移 | 12 |
| 3 高度・特殊診療病床等の状況 | 14 |
| 第 3 県内医療機関に占める県立病院の位置 | 15 |
| 1 病院数及び病床数の状況 | 15 |
| 2 医療従事者の状況 | 16 |
| 3 県内の医療事情 | 16 |

第 II 章 業務の概況

| | |
|-----------------------|-----|
| 第 1 診療の状況 | 20 |
| 1 患者数 | 20 |
| (1) 総 括 | 20 |
| (2) 入院患者 | 22 |
| (3) 外来患者 | 36 |
| (4) 患者の市町村分布状況 | 52 |
| 2 調剤、検査、放射線、手術及び給食の状況 | 76 |
| (1) 調剤の状況 | 76 |
| (2) 臨床検査の状況 | 80 |
| (3) 放射線の使用状況 | 88 |
| (4) 手術、分娩等の状況 | 96 |
| (5) 給食の状況 | 112 |
| 3 理学・作業療法の状況 | 118 |

| | | |
|----|-------------------------|-----|
| 4 | 人工透析の状況 | 119 |
| 5 | 公衆衛生活動の状況 | 119 |
| 第2 | 職員の状況 | 120 |
| 1 | 職員数 | 120 |
| 2 | 給与 | 124 |
| 3 | 年齢構成及び経験年数 | 125 |
| 4 | 医師の配置状況 | 126 |
| 5 | 看護師の状況 | 136 |
| 第3 | 施設・設備の整備状況 | 138 |
| 1 | 施設・設備の整備状況 | 138 |
| | ア 県立病院事業施設整備費の状況（総括） | 138 |
| | イ 県立病院施設整備状況（財源内訳） | 140 |
| | ウ 県立病院主要施設整備の状況 | 142 |
| | エ 国庫補助金による県立病院整備実績 | 158 |
| | オ 県立病院医師住宅整備・利用状況 | 160 |
| | カ 県立診療所及び医師住宅の整備状況 | 162 |
| | キ 県立診療所整備実績 | 164 |
| | ク 県立診療所医師・看護師住宅整備（改築）実績 | 166 |
| | ケ 県立病院看護師宿舎整備・利用状況 | 168 |
| 2 | 設備（医療機器等）の状況 | 170 |
| | ア 医療機器及び備品購入状況 | 170 |
| | イ 機械備品職員1人当り1床当り整備高 | 172 |
| | ウ 県立病院の主要医療機器整備状況 | 174 |
| | エ 県立診療所の主要医療機器整備状況 | 203 |
| 第4 | 電算化の状況 | 213 |
| | (1) 電算化の経緯 | 213 |
| | (2) 電算化の業務 | 215 |

第Ⅲ章 財務の概況

| | | |
|----|-------------------|-----|
| 第1 | 収益的収支の状況 | 219 |
| 1 | 事業収益・事業費用の概況 | 219 |
| | ア 収益的収支決算比較 | 220 |
| 2 | 収益の状況 | 226 |
| | ア 医業収益の構成比 | 226 |
| | イ 患者1人1日当り診療収入 | 226 |
| | ウ 患者1人1日当り診療行為別収入 | 226 |

| | | |
|----|------------------------------|-----|
| エ | 診療行為別収入の構成比 | 228 |
| 3 | 費用の状況 | 230 |
| ア | 総収益対総費用の割合 | 230 |
| イ | 総収益対材料費等の割合 | 230 |
| ウ | 医業収益対医業費用構成比 | 230 |
| エ | 医業外収益対医業外費用の割合 | 232 |
| オ | 患者1人1日当り診療収益対患者1人1日当り医業費用の割合 | 232 |
| 第2 | 資本的収支の状況 | 234 |
| 1 | 資本的収支の状況 | 234 |
| ア | 資本的収支決算の推移 | 235 |
| イ | 資本的収支の状況（病院別） | 236 |
| 第3 | 資産・負債及び資本の状況 | 238 |
| 1 | 比較貸借対照表 | 238 |
| 2 | 短期流動性 | 240 |
| ア | 年度別流動比率及び不良債務比率 | 240 |
| 3 | 未収金の状況 | 242 |
| ア | 未収金残高（平成21年度末） | 242 |
| イ | 科目別未収金残高 | 244 |
| ウ | 不納欠損額 | 246 |
| 4 | 長期健全性 | 246 |
| ア | 自己資本比率、固定資産対長期資本比率 | 246 |
| 第4 | 病院事業繰入金の状況 | 247 |
| 第5 | 企業債、借入金の状況 | 248 |
| 1 | 病院事業会計借入金状況一覧表 | 248 |
| 2 | 償還金の状況 | 250 |
| 第6 | 経営分析比率 | 251 |
| 1 | 労働生産性の状況 | 252 |
| 2 | 資本生産性の状況 | 254 |
| 3 | 主要経営指標の状況 | 256 |

第IV章 診療所の概況

| | | |
|---|----------|-----|
| 1 | 現況 | 262 |
| 2 | 患者数 | 266 |
| 3 | 収益的収支の状況 | 268 |

(参考資料)

| | | |
|---|-------------------|-----|
| 1 | 診療報酬改正及び薬価基準改定の推移 | 274 |
| 2 | 給与改定の推移 | 275 |
| 3 | 使用料の推移 | 276 |
| 4 | 手数料の推移 | 286 |